

氏名	木戸 盛年
よみ	きど もりとし
英字	KIDO, Moritoshi
プロフィール	公認心理師。関西学院大学文学部心理学科卒業、関西学院大学大学院文学研究科心理学専攻修了、関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理学領域単位取得満期退学、神戸学院大学 助手、大阪商業大学 助教を経て、現職。
職位	講師
最終学歴	関西学院大学 大学院文学研究科 総合心理科学専攻 心理科学領域 博士課程後期課程 【博士号取得は2014年】
学位	博士（心理学）
所属学会・役職	日本心理学会 日本アルコール・アディクション医学会・評議員 日本健康心理学会 関西心理学会 日本精神神経学会
専門分野	学習心理学・実験心理学・健康心理学
研究テーマ	行動嗜癖としてのギャンブル障害に関する心理学的研究
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	<p>【著書】</p> <p>木戸盛年(2024). 第8章 心豊かな人生を送る 8-3 誰かを応援しつづける・ファン・推し・オタクの心理・八城薫(編) 新・心理学を今に活かす 教育情報出版 pp.103-105. 木戸盛年(2024). 第2章 ギャンブル等依存症とは 第2節 ギャンブルの「深追い」とは, 第5章 自己排除プログラム-「セルフ・エクスクルージョン」とは 谷岡一郎・小原圭司(編) ギャンブル等依存症対策士資格認定テキスト 中央法規 pp.53-61. pp.114-122. 木戸盛年(2019). 第3章 依存・嗜癖問題の諸相 16 ギャンブル 宮田久嗣, 高田孝二, 池田和隆, 廣中直行(編) アディクションサイエンス-依存・嗜癖の科学- 朝倉書店 pp.160-167.</p> <p>【主な研究論文】</p> <p>木戸盛年(2024). 日本におけるオンラインギャンブルの現状と対策. 瀬木学園紀要, <b>23</b>, 41-46. 木戸盛年・野田龍也・伊東千絵子(2023). ギャンブル障害の現状と今後の対策に向けて. 神戸学院大学心理臨床カウンセリングセンター紀要, <b>16</b>, 3-8. 木戸盛年・野田龍也・伊東千絵子(2022). 日本でのギャンブル障害の疫学調査に向けて. 瀬木学園紀要, <b>21</b>, 50-56. 木戸盛年・高橋伸彰・野田龍也・嶋崎恒雄(2019). 修正日本語版 South Oaks Gambling Screen (SOGS-J) のカットオフ点の検討および短縮版 SOGS-J の作成. 関西学院大学心理科学研究, <b>45</b>, 73-81. 木戸盛年・高橋伸彰・野田龍也(2019). ギャンブル障害 (gambling disorder) の研究に関する計量書誌学的分析. 大阪商業大学アミューズメント産業研究所紀要, <b>21</b>, 23-41. 木戸盛年(2019). 教職・副専攻科目「心理学 I・II」における心理学的手法を用いた講義運営の実践報告. 大阪商業大学教職課程研究紀要, <b>3(1)</b>, 29-36. 高橋伸彰・木戸盛年・野田龍也(2017). インターネットアディクション尺度の統合: Consolidated Internet-Addiction Scale (CIS) の提案. 日本アルコール・薬物医学会雑誌, <b>52(6)</b>, 287-296. 木戸盛年・嶋崎恒雄(2007). 修正日本語版 South Oaks Gambling Screen (SOGS) の信頼性・妥当性の検討. 心理学研究, <b>77(6)</b>, 547-552.</p>

【その他】

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究C「複数のギャンブル障害尺度の同時測定による有病率の検証と調査方法の確立」2024年度～2026年度, 研究代表者

日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究「社会的な実装を指向したギャンブル障害のスクリーニング用テストバッテリーの提案」2020年度～2023年度, 研究代表者

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究C「尺度開発理論と疫学の融合による行動嗜癖のスクリーニングテストの統合的開発」2017年度～2019年度, 研究分担者

大阪府IR推進局 ギャンブル等依存症対策研究会 研究委員, 2018年度～2021年度

大阪府IR推進局 ギャンブル等依存症対策アドバイザー, 2023年度～現在に至る